

2025年度 きらら西口園 保育所の自己評価

今年度は子ども一人ひとりに寄り添った保育と、保護者との丁寧な関わりを大切にしてきました。園の温かい雰囲気づくりには一定の成果が見られましたが、その魅力を十分に発信しきれていない点が課題だと感じます。来年度は情報発信を強化し、地域に開かれた園づくりを進めることで、より多くの家庭に選ばれる園を目指したいと思います。

評価項目	取組み状況
1.保育理念	<p>当園の理念でもある「もう一人のおかあさん、もうひとつの家族」を基に、少人数ならではの丁寧な関わりを実践しています。子どもの小さな変化にも気づき、家庭との連携も密に行えました。今後は、理念の共有をさらに深めるため、職員間での振り返りの機会を増やし、より質の高い保育につなげていきたいと思います。</p>
2.子どもの育ちと保育内容	<p>少人数保育の特性を活かし、子ども一人ひとりの発達や興味関心に寄り添った保育を行いました。子どものペースを大切にしながら、安心して過ごせる環境の中で、主体的な遊びがみられるようになってきました。今後は、子どもの姿をより深く捉え、保育内容へさらに反映させていきたいと思います。</p>
3.保護者に対する支援	<p>初めての育児で不安を抱える保護者も多いため、日々の様子を細やかに伝え、安心して預けてもらえるよう努めました。食事や睡眠、体調面についても丁寧に共有し、家庭との連携を大切にしました。今後は保護者の気持ちにさらに寄り添い、相談しやすい環境づくりを意識していきたいと思います。</p>
4.保育者の資質向上	<p>少人数であるため職員同士の連携が取りやすく、日々の保育について意見交換や振り返りを行いやすい環境にあります。それぞれの気付きを共有することで保育の質向上につながっていると感じます。今後は個々の経験や知識に差が出ないよう、計画的な研修参加や学びの機会を確保していくことが課題であると思います。</p>
5.地域や社会とのかかわり、地域子育て支援	<p>地域の子育て家庭に対して、相談しやすい環境づくりを心掛けています。定期的に施設体験を行い、参加者から相談があった際には、必要に応じて情報提供や助言を行うことが出来ました。また、卒園児との交流や、近隣の小学校訪問など、安心して就学につながるよう取組みを行いました。今後は園の専門性を活かし、子育て支援の取組みをより積極的に発信していくことが課題であると感じます。</p>